

17JVA 発 第 84 号
平成 29 年 6 月 19 日

都道府県バレーボール協会
専務理事・理事長 殿
全国連盟
理事長 ・代表者 殿
ブロック理事長 殿

公益財団法人日本バレーボール協会
代表理事 林 孝彦



体育館の床板の剥離による負傷事故の防止および注意喚起について

向夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、去る平成 29 年 5 月 29 日 文部科学省及びスポーツ庁より、「29 施企第 2 号 体育館の床板の剥離による負傷事故の防止について」注意喚起がされたところですが、バレーボールに関するところでは、2013 年の黒鷲旗大会に事故が発生し、弊会では国内競技会をはじめとする講習会や研修会においても「危機管理基本マニュアル」を作成し、関係の皆様には各種事業におきまして様々な防止策を講じていただいております。

しかしながら、独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）が管理・運営し、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）が主体的に運用する「ナショナルトレーニングセンター共用コート」において、平成 29 年 6 月 10 日に本会が招集した男子ジュニア U21 合宿参加中の大学生選手が右大腿部刺創のけがを負う事故が発生しました。

かねてより「危機管理」につきましてご連絡・徹底をお願いさせていただいておりますが、再発を防止するためにも、改めてご連絡いたしますので「危機管理」の徹底をお願い致します。

つきましては、本会の主催大会のみならず各種大会や講習会・研修会等の事業において、自然災害、火災、停電、病気（食中毒、インフルエンザ、感染症など）、負傷等、関係者（選手、参加者、モデルチーム、役員及び講師、観客等）の生命の危機にも関わる予期せぬ事態の発生に際し、事前に関係者に適切な対処方法を伝えておくとともに、当日、現場においてそのような事態が発生した場合は速やかにその対処方法を関係者に伝達し、安全・安心が確保されるように添付のとおり危機管理基本マニュアルを作成致しましたので何卒宜しくお願い申し上げます。